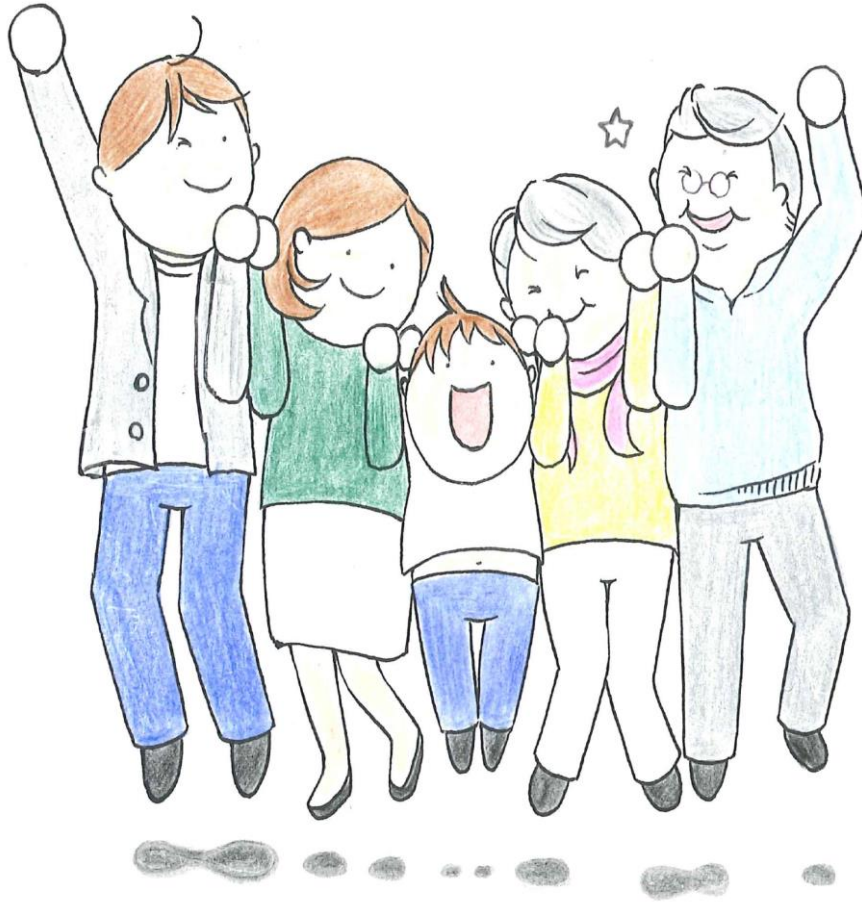


社会福祉法人真庭市社会福祉協議会

平成 27 年度事業報告書

(自) 平成 27 年 4 月 1 日 (至) 平成 28 年 3 月 31 日



社会福祉法人真庭市社会福祉協議会理念

1 基本理念

すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。

2 経営理念

- 住民主体の地域福祉を推進します。
- 適切で質の高いサービスを提供します。
- 経営体質を強化し、人財を育成します。

3 行動マインド

- 理想と誇りを持って地域福祉を進めます。
- 利用者本位で心のこもったサービスを提供します。
- 法令を遵守し、高い倫理観を持って行動します。
- 組織目標を共有し、経営能力を高めます。
- 職員としての一体感を高め、相互に協力します。

I 事業概要

急速な少子高齢、人口減少社会の進行などにより、地域社会や家庭の様相が大きく変容する中、社会的孤立の問題、生活困窮や権利擁護の問題等、地域における生活課題は深刻化し、多様になっています。

また真庭市社会福祉協議会を取り巻く財政状況もさらに厳しさを増しています。

このような状況の中、本会の基本理念「すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現」を目指し、経営理念、行動マインドを実現するため諸事業に取り組んで参りました。

本会の基本計画である「第2次地域福祉活動計画見直し計画」を基に事業を推進しました。

小地域福祉活動の推進については、地区社協活動の推進、福祉委員の役割の理解・活動支援に重点を置き、アウトリーチ活動を推進し、「地域助けあい事業」の取組みを始め、地域福祉の充実を図りました。

介護事業については、質の高いサービス提供を目指し、昨年に引き続き利用者の満足度調査を実施し、サービスの改善に取り組みました。

経営体質改善として、中期経営計画を推進し、各種事業の見直しを実施しました。自主財源の確保に努め、市民から寄せられた社協会費や善意の寄付金、共同募金の活用について、善意銀行運営委員会や基金運営委員会等で協議して有効活用を図りました。

職員の資質向上については、本会の経営方針のもと、職員が年間の各部門計画・個人目標を掲げて業務にあたることにより、組織の目標達成に向けた体制づくり、人材育成に取り組みました。

落合老人福祉センターの改修工事を行い、平成27年9月末に落合支所・介護南事業所を移転し、10月から業務を開始しました。

特別会計の地域福祉センター「百楽苑」の経営については、企画事業委員会で今後の方針を協議しました。平成27年度末で事業を終了し、平成28年度に真庭市養護老人ホームの移管先である社会福祉法人郁青会に譲渡することが決定されました。

以下、分野ごとに事業内容を報告します。

II 重点事業

平成 27 年度は、真庭市社会福祉協議会の理念に基づき、質の高い福祉サービスの提供と経営体質を改善するため、次の重点事業を実施しました。

1 社会福祉事業会計

(1) 真庭市との連携組織運営

【目標】

地域福祉の推進及び個別具体的に必要な福祉事業の提供のため、職員及び事業用資産の確保に資する真庭市の支援を得ながら、専門性の向上とともにさらなる地域福祉活動の活性化と、真庭市福祉行政及び施策への参加・協力を行っていきます。また、真庭市内の介護保険サービスの提供体制の確保のために介護保険サービス提供事業者としての充実を図り、障がい者自立支援サービスや真庭市事業の受託による福祉サービスの提供に努めていきます。

さらに、真庭市との協議・連携により真庭市社会福祉協議会の地域福祉推進に向けた体制の整備を図っていきます。

【実績】

事業推進のための、人員の財源確保や事業推進について協議を重ねました。また、各担当課、振興局と連携を進めています。

(2) 第 2 次地域福祉活動計画見直し計画（平成 27 年度～平成 28 年度）の推進

【目標】

平成 26 年度に策定した第 2 次地域福祉活動計画見直し計画（平成 27 年度～平成 28 年度）に基づき、各種地域福祉事業を推進します。

【実績】

第 2 次地域福祉活動計画見直し計画に基づき、新規事業「地域助けあい事業」に取り組む等、各種地域福祉事業を推進しました。

(3) 中期経営計画の推進

【目標】

平成 25 年度に策定した中期経営計画に基づき、持続可能な経営基盤の確立を図り、限られた財源の中で効率的・効果的な事業を行い、さらに組織として経営改善に取り組みます。

【実績】

中期経営計画に基づき、事業の見直し等計画を推進しました。

(4) 落合支所及び介護南事業所の移転

【目標】

落合老人福祉センターの改修工事を計画的に施工し、移転時期を平成 27 年度下期の業務開始として、着実に進めていきます。

【実績】

改修工事は、平成 27 年 4 月に着手し、平成 27 年 7 月 31 日に完了しました。落合支所、介護南事業所の移転を平成 27 年 9 月末に実施、平成 27 年 10 月から業務を開始しました。

2 収益事業会計

【目標】

地域福祉センター百楽苑

平成 27 年度は、福祉の拠点施設として運営しながら、介護予防事業の実施を継続していきます。

真庭市の運営費補助金廃止の考え方を受けて、平成 26 年度に協議した結果を踏まえながら、真庭市との協議を行い、引き続き今後の方針を検討していきます。

【実績】

地域福祉センター事業を平成 28 年 3 月 31 日で終了し、真庭市養護老人ホームの移管先に決定された、社会福祉法人郁青会に譲渡することを企画事業委員会で検討し、理事会・評議員会で決定されました。



Ⅲ 事業実施項目

1 法人運営

(1) 組織運営

【目標】

地域福祉推進体制の充実及び各種事業のサービス提供体制の充実を目指します。

① 理事会

【目標】

開催目標 7 回(平成 26 年度実績 7 回・視察研修 1 回)

役員研修会の実施、責任体制の明確化、委員会組織の活性化

【実績】

●第 1 回理事会

日 時 平成 27 年 5 月 25 日(月)13 : 30～

場 所 久世公民館

出席者 理事 12 名・監事 2 名 事務局長他

協議事項 評議員選任について

平成 26 年度事業報告、会計決算、監査報告について他

●第 2 回理事会

日 時 平成 27 年 6 月 30 日(火)10 : 00～

場 所 久世公民館

出席者 理事 12 名・監事 2 名 事務局長他

協議事項 評議員の選任について

平成 27 年度社会福祉事業・収益事業会計第 1 次補正予算について他

●第 3 回理事会

日 時 平成 27 年 7 月 9 日(木)9 : 30～

場 所 久世公民館

出席者 理事 14 名・監事 2 名 事務局長他

協議事項 会長・副会長の選任について

会長職務代理者の選任について他

●第 4 回理事会

日 時 平成 27 年 7 月 13 日(月)10 : 00～

場 所 久世公民館

出席者 理事 13 名・監事 1 名 事務局長他

協議事項 地域福祉センター「百楽苑」譲渡の依頼について

●第 5 回理事会

日 時 平成 27 年 9 月 1 日(火)10 : 00～

場 所 久世公民館

出席者 理事 13 名・監事 2 名 事務局長他

協議事項 平成 27 年度第 2 次補正予算について

●第6回理事会

日 時 平成27年10月22日(木)13:10～
場 所 久世公民館
出席者 理事11名・監事2名 事務局長他
協議事項 定款の一部改正について

●第7回理事会

日 時 平成28年1月18日(月)14:00～
場 所 久世公民館
出席者 理事13名・監事1名 事務局長他
協議事項 平成27年度第3次補正予算について
地域福祉センター事業の廃止について
基本財産の処分について他

●第8回理事会

日 時 平成28年3月24日(木)13:30～
場 所 久世公民館
出席者 理事13名・監事2名 事務局長他
協議事項 平成27年度第4次補正予算について
地域福祉センター土地建物売買契約書(案)について
平成28年度事業計画、当初予算について他

② 監事会 (監査)

【目標】

開催目標3回

【実績】

監事監査3回 内部監査1回

●平成26年度決算監査

日 時 平成27年5月11日(月)9:30～
場 所 久世保健福祉会館 社協会長室
内 容 平成26年度事業及び一般会計・特別会計・財産目録の監査
出席者 監事 浜子 尊行、大美 康雄

●平成27年度随時監査(第1回)

日 時 平成27年11月17日(火)10:00～
場 所 久世保健福祉会館 社協会長室
内 容 平成27年4月～8月末までの監査他
出席者 監事 浜子 尊行、大美 康雄

●平成27年度随時監査(第2回)

日 時 平成28年3月16日(水)9:00～
場 所 久世保健福祉会館 社協会長室
内 容 平成27年9月～12月末までの監査他

出席者 監事 浜子 尊行、大美 康雄

●平成 27 年度内部監査

日 時 平成 27 年 12 月～1 月

場 所 本所・全支所・百楽苑

内 容 小口現金、各種団体会計、支所施設預金通帳、共同募金通帳、
歳末たすけあい通帳、日常生活自立支援事業保管品、
やすらぎ入所者保管品、金庫内保管品等の内部監査

実施者 事務局長、次長、佐藤参事、三谷主幹

③ 評議員会

【目標】

開催目標 5 回(平成 26 年度実績 5 回)

研修会の実施

【実績】

●第 1 回評議員会

日 時 平成 27 年 5 月 26 日(火)13:30～

場 所 久世公民館

出席者 評議員 25 名 会長・副会長・監事・事務局長他

協議事項 理事の選任について

平成 26 年度事業報告、会計決算、監査報告について他

●第 2 回評議員会

日 時 平成 27 年 7 月 6 日(月)13:30～

場 所 久世公民館

出席者 評議員 26 名 会長・副会長・事務局長他

協議事項 理事・監事の選任について

平成 27 年度会計第 1 次補正予算について他

●第 3 回評議員会

日 時 平成 27 年 7 月 17 日(金)13:30～

場 所 久世公民館

出席者 評議員 18 名 会長・副会長・事務局長他

協議事項 地域福祉センター「百楽苑」の運営について他

●第 4 回評議員会

日 時 平成 27 年 9 月 3 日(木)13:30～

場 所 久世公民館

出席者 評議員 27 名 会長・副会長・事務局長他

協議事項 平成 27 年度会計第 2 次補正予算について他

●第 5 回評議員会

日 時 平成 27 年 10 月 22 日(木)15:00～

場 所 久世公民館
出席者 評議員 19 名 会長・副会長・事務局長他
協議事項 定款の一部変更について
地域福祉センター「百楽苑」について他

●第 6 回評議員会

日 時 平成 28 年 1 月 21 日(木)13:30～
場 所 久世公民館
出席者 評議員 20 名 会長・副会長・事務局長他
協議事項 平成 27 年度会計第 2 次補正予算について
地域福祉センター事業の廃止について
基本財産の処分について他

●第 7 回評議員会

日 時 平成 28 年 3 月 28 日(月)13:30～
場 所 久世公民館
出席者 評議員 24 名 会長・副会長・事務局長他
協議事項 平成 27 年度第 4 次補正予算について
地域福祉センター土地建物売買契約書(案)について
平成 28 年度事業計画、当初予算について他

④ 業績検討会

【目標】

役員による介護事業及び地域福祉事業の業績検討会の実施

【実績】

三役会で業績検討の実施

三役会議 (久世保健福社会館 久世公民館)

| | | | |
|--------|---------------------|--------|----------------------|
| 第 1 回 | 平成 27 年 5 月 19 日(火) | 第 2 回 | 平成 27 年 6 月 10 日(水) |
| 第 3 回 | 平成 27 年 6 月 30 日(火) | 第 4 回 | 平成 27 年 7 月 6 日(月) |
| 第 5 回 | 平成 27 年 7 月 10 日(金) | 第 6 回 | 平成 27 年 7 月 17 日(金) |
| 第 7 回 | 平成 27 年 8 月 20 日(木) | 第 8 回 | 平成 27 年 8 月 25 日(火) |
| 第 9 回 | 平成 27 年 9 月 30 日(水) | 第 10 回 | 平成 27 年 12 月 24 日(木) |
| 第 11 回 | 平成 28 年 1 月 13 日(水) | 第 12 回 | 平成 28 年 3 月 3 日(水) |
| 第 13 回 | 平成 28 年 3 月 7 日(月) | 第 14 回 | 平成 28 年 3 月 11 日(金) |

⑤ 財務管理委員会

第 1 回 平成 28 年 2 月 26 日(金) 久世公民館
協議事項 平成 28 年度地域福祉活動団体助成審査他

⑥ 地域福祉センター「百楽苑」経営推進会議(企画事業委員会)

第 1 回 平成 27 年 10 月 29 日(木) 地域福祉センター「百楽苑」
第 2 回 平成 27 年 11 月 6 日(金) 地域福祉センター「百楽苑」
第 3 回 平成 27 年 12 月 21 日(月) 久世公民館

第 4 回 平成 28 年 3 月 11 日(金) 久世公民館

⑦ 基金運営委員会

地域福祉活動基金は、多様化する住民の福祉ニーズに対し、福祉事業の安定的な発展を図ることを目的として設置され、地域福祉活動基金設置運営規程第 4 条第 2 項の規定により本委員会において適正に運営を行いました。

第 1 回 平成 28 年 3 月 24 日(木) 久世公民館
協議事項 平成 28 年度基金利息予算額と事業計画他

⑧ 善意銀行運営委員会

広く人々の善意の預託を受け、これを効果的に社会に還元し、もって福祉の増進を図ることを目的とする善意銀行の適正な運営のため、運営に関する事項を協議しました。

第 1 回 平成 28 年 3 月 24 日(木) 久世公民館
協議事項 平成 28 年度予算額と事業計画他

⑨ 試験委員会

正職員及び常勤契約職員採用試験において、公平・公正の確保、客観的な評価、適正な人材の採用等のため本委員会を開催しました。

第 1 回 平成 28 年 2 月 28 日(日) 落合老人福祉センター 正職員採用筆記試験選考
第 2 回 平成 28 年 3 月 3 日(木) 久世保健福祉会館 正職員採用試験最終選考

⑩ 表彰審査会

多年にわたり地域福祉の向上に携わり、その功績が顕著な者及び団体に対して本会会長から表彰状又は感謝状及び記念品を贈呈するにあたり、本会表彰規程に基づき、公平・公正な審査により被表彰者の選考を行い、会長に答申しました。

第 1 回 平成 27 年 10 月 28 日(火) 久世保健福祉会館 会長表彰審査

⑪ 地域密着型介護老人福祉施設 やすらぎ運営推進会議

やすらぎ運営推進会議は、地域密着型介護老人福祉施設やすらぎでの施設サービスを地域住民に報告し、意見、要望、助言等を受け、施設運営に反映させ、利用者の生活の向上を図ることを目的としています。このために、利用者、利用者の家族、真庭市職員、地域福祉推進委員、地域住民の代表者等と 2 月毎に開催しました。

第 1 回 平成 27 年 5 月 20 日(水) 湯原保健福祉センター
第 2 回 平成 27 年 7 月 8 日(水) 湯原保健福祉センター
第 3 回 平成 27 年 9 月 9 日(水) 湯原保健福祉センター
第 4 回 平成 27 年 11 月 11 日(水) 湯原保健福祉センター
第 5 回 平成 28 年 1 月 13 日(水) 湯原保健福祉センター
第 6 回 平成 28 年 3 月 9 日(水) 湯原保健福祉センター

⑫ 社会福祉大会実行委員会

- 第1回 平成27年 8月25日(火) 久世公民館
第2回 平成27年 9月24日(木) 久世公民館
第3回 平成27年11月 5日(木) 久世公民館

⑬ 研修会

ア 人事管理制度研修会

- 日時 平成27年 6月11日(木) 18:15～ 78人参加
場所 勝山文化センター
内容 「人事管理制度の全体研修」
講師 (株)経営開発センター 福祉経営部 野崎悦雄社長

イ 介護事業経営検討会

- 日時 平成27年 8月24日(月) 18:30～ 13人参加
場所 久世保健福祉会館
内容 「介護報酬改定の影響と収支状況確認について」
講師 (株)経営開発センター 野崎悦雄代表取締役社長

ウ 交通安全講習会

- 日時 平成27年10月20日(火) 18:00～ 落合老人福祉センター 66人参加
場所 平成27年10月22日(木) 18:00～ 湯原保健福祉センター 41人参加
内容 「交通事故防止について」
講師 真庭警察署 妹尾宣明交通第一係長

エ 人事評価者研修会

- 日時 平成28年 1月 7日(木) 18:00～ 14人参加
場所 久世保健福祉会館
内容 (1) 評価者として必要となる基本的考え方
(2) 人事評価ケーススタディ
(3) 面接の進め方とポイント
講師 (株)経営開発センター 福祉経営部 野崎悦雄社長

(2) 財務運営

【目標】

中期経営計画の着実な実施と、真庭市の財政支援の確保を図りながら、福祉事業を実施する財源となる社協会費、善意寄付、各種募金の増強に取組み、介護保険サービス提供事業の効率的運営による事業収支の改善を図ることで、真庭市社会福祉協議会の財務基盤の強化を目指します。

【実績】

① 自主財源の増強 社協会費、善意寄付金収入、共同募金収入、収益事業収入

- ア 社協会費 会費実績額 14,512,500円〔一般11,796,500円 特別2,716,000円〕
(前年対比 △57,300円 一般 △184,300円 特別 127,000円)

| 本支所名 | 一般会費 | 特別会費 | 合 計 |
|--------|--------------|-------------|--------------------------|
| 本所(久世) | 2,336,500 円 | 618,000 円 | 2,954,500 円(40,000 円) |
| 北房支所 | 1,529,000 円 | 432,000 円 | 1,961,000 円(14,000 円) |
| 落合支所 | 3,252,000 円 | 634,000 円 | 3,886,000 円(△113,300 円) |
| 勝山支所 | 1,978,500 円 | 470,000 円 | 2,448,500 円(△6,000 円) |
| 美甘支所 | 410,000 円 | 40,000 円 | 450,000 円(22,500 円) |
| 湯原支所 | 898,500 円 | 220,000 円 | 1,118,500 円(△60,500 円) |
| 中和支所 | 173,000 円 | 27,000 円 | 200,000 円(△17,000 円) |
| 八束支所 | 655,000 円 | 200,000 円 | 855,000 円(28,000 円) |
| 川上支所 | 564,000 円 | 75,000 円 | 639,000 円(35,000 円) |
| 計 | 11,796,500 円 | 2,716,000 円 | 14,512,500 円(△57,300 円) |

イ 善意寄付金収入 実績額 739 件(△97 件)11,730,843 円(△1,097,637 円)

| 本支所名 | 件 数 | 金 額 |
|--------|-----------|----------------------------|
| 本所(久世) | 159(1) | 2,393,267 円(82,787 円) |
| 北房支所 | 116(△16) | 2,192,343 円(34,343 円) |
| 落合支所 | 152(△63) | 2,187,925 円(△975,075 円) |
| 勝山支所 | 120(△33) | 1,577,681 円(△343,319 円) |
| 美甘支所 | 34(0) | 470,000 円(△135,000 円) |
| 湯原支所 | 66(3) | 1,050,000 円(△160,000 円) |
| 中和支所 | 11(1) | 214,627 円(68,627 円) |
| 八束支所 | 50(11) | 1,045,000 円(245,000 円) |
| 川上支所 | 31(△1) | 600,000 円(85,000 円) |
| 合 計 | 739(△97) | 11,730,843 円(△1,097,637 円) |

※指定預託寄付 30,000 円、車両寄贈分 1,080,000 円を除く

ウ 赤い羽根共同募金実績額 6,258,359 円(前年対比 △ 73,024 円)

歳末たすけあい募金実績額 3,273,100 円(前年対比 43,259 円)

| 本支所名 | 赤い羽根共同募金 | 歳末たすけあい募金 | 合計 |
|--------|-------------|-------------|-------------------------|
| 本所(久世) | 1,382,055 円 | 652,463 円 | 2,034,518 円(△48,869 円) |
| 北房支所 | 821,184 円 | 461,400 円 | 1,282,584 円(3,055 円) |
| 落合支所 | 1,480,987 円 | 816,450 円 | 2,297,437 円(79,911 円) |
| 勝山支所 | 1,118,288 円 | 588,837 円 | 1,707,125 円(△27,498 円) |
| 美甘支所 | 222,827 円 | 111,300 円 | 334,127 円(8,542 円) |
| 湯原支所 | 447,448 円 | 216,600 円 | 664,048 円(△34,488 円) |
| 中和支所 | 97,439 円 | 57,000 円 | 154,439 円(△16,754 円) |
| 八束支所 | 402,211 円 | 218,300 円 | 620,511 円(27,148 円) |
| 川上支所 | 285,920 円 | 150,750 円 | 436,670 円(△20,812 円) |
| 合 計 | 6,258,359 円 | 3,273,100 円 | 9,531,459 円(△29,765 円) |

② 真庭市の負担金及び補助金の確保

【目標】

負担金 43,320 千円、補助金 68,211 千円、負担金補助金合計 111,531 千円(収益事業会計補助金 24,390 千円を含む)を確保します。

【実績】

| | |
|------------------------------|---------------------------------|
| ア 真庭市補助金等 <() は前年度対比> | 合計 111,531,000 円(△5,351,000 円) |
| a 負担金 (福祉活動専門員の人件費) | 計 43,320,000 円(△4,610,000 円) |
| (a) 福祉活動専門員設置負担金 | 32,220,000 円(△4,610,000 円) |
| (b) 福祉団体活動負担金 | 7,830,000 円(0 円) |
| (c) 日常生活自立支援事業の職員人件費 | 3,270,000 円(0 円) |
| b 補助金 | 計 68,211,000 円(△741,000 円) |
| (a) 福祉活動専門員以外の職員人件費 | 33,821,000 円(1,601,000 円) |
| (b) 介護保険運営補助 | 6,000,000 円(△2,042,000 円) |
| (c) 老人福祉施設運営費補助金(落合・久世センター分) | 28,390,000 円(△500,000 円) |

③ 介護保険関係事業の経営改革

【目標】

サービス区分ごとの経営管理体制の強化による経営の安定化を図ります。

【実績】

財務体質改善に向け、各事業所管理者・サービス提供責任者等で、サービスの質の向上や業務改善へ向けた取組みを協議し各事業の経営方針を検討しました。

(3) 指定管理事業

【目標】

平成 27 年度より、第 3 期の指定管理事業を受託します。

指定管理業務においては、適正な管理運営に努めます。また、湯原保健福祉センターについては、介護保険サービス事業による経営の安定化を図ることに努めます。

【実績】

| | |
|---------------------|-------------------------------------|
| 指定管理料 | 合計 40,168,000 円前年度対比(15,138,000 円増) |
| ア 湯原保健福祉センター管理料 | 25,797,000 円(指定期間 平成 27～31 年度) |
| イ 中和デイサービスセンター管理料 | 2,281,000 円(指定期間 平成 27～29 年度) |
| ウ 八東老人福祉センター管理料 | 3,171,000 円(指定期間 平成 27～29 年度) |
| エ 川上保健センター他 2 施設管理料 | 8,919,000 円(指定期間 平成 27～29 年度) |

2 地域福祉事業

(1) 住民参加活動の推進

① 小地域福祉活動の推進

地域住民が主役となって活動に参加し、地域づくりを進める中で「地域の福祉力」を高め、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取組みをしました。

ア 地区社協組織の活性化

【目標】

地域での見守り活動強化と支えあい活動（地域助けあい事業【仮称】）の推進。
座談会等の開催（開催目標 地区社協ごとに年1回以上）

【実績】

地域助けあい事業の推進に向けて28地区社協で説明会を行いました。また、支援が必要な方の把握や情報共有を行う「助けあい会議」を11地区社協で開催し、助けあいマップを通して、見守り体制の整備や困りごとを抱えた方への支援を行いました。

地区社協活動の指標を基に、福祉活動専門員が地区社協へ積極的に関わりました。
各地区社協単位に市内で51回座談会を開催しました。

地区社協助成金の交付

市内地区社協32地区 活動助成金7,629,476円(前年対比 62,082円)

○北房支所(5地区)

| | | |
|----------------|-----|----------|
| ・中津井せんだんの会福祉部会 | 助成額 | 242,100円 |
| ・皆部地区社協 | 助成額 | 264,150円 |
| ・阿口竜王会 | 助成額 | 66,250円 |
| ・上水田地区社協 | 助成額 | 288,300円 |
| ・水田むらづくりの会 | 助成額 | 264,850円 |

○落合支所(7地区)

| | | |
|--------------------|-----|----------|
| ・落合地区福祉のむらづくり推進委員会 | 助成額 | 400,000円 |
| ・天津地区社会福祉協議会 | 助成額 | 295,300円 |
| ・津田地区むらづくり推進委員会 | 助成額 | 177,650円 |
| ・木山地区社会福祉協議会 | 助成額 | 305,100円 |
| ・美川地区社会福祉協議会 | 助成額 | 285,850円 |
| ・河内地区福祉の村づくり | 助成額 | 250,150円 |
| ・川東地区社会福祉協議会推進委員会 | 助成額 | 317,455円 |

○本所(9地区)

| | | |
|----------------|-----|----------|
| ・宮芝・町西福祉の会 | 助成額 | 239,400円 |
| ・久世まちなか社会福祉協議会 | 助成額 | 256,800円 |
| ・ひまわり福祉の会 | 助成額 | 169,800円 |
| ・遷喬東地区社会福祉協議会 | 助成額 | 174,346円 |
| ・川南地区社会福祉協議会 | 助成額 | 240,000円 |
| ・草加部地区社会福祉協議会 | 助成額 | 161,200円 |
| ・米来地区社会福祉協議会 | 助成額 | 265,550円 |
| ・檉邑地区社会福祉協議会 | 助成額 | 92,500円 |
| ・余野地区社会福祉協議会 | 助成額 | 73,600円 |

○勝山支所(3地区)

| | | |
|-----------------------|-----|----------|
| ・勝山小学校区社会福祉協議会 | 助成額 | 500,000円 |
| ・月田地区コミュニティ協議会 | 助成額 | 264,000円 |
| ・富原地区高齢者福祉のむらづくり推進委員会 | 助成額 | 237,000円 |

- 美甘支所(1 地区)
 - ・美甘地区地域福祉推進委員会 助成額 253,125 円
- 湯原支所(4 地区)
 - ・湯原東地区社協 助成額 254,700 円
 - ・湯原南地区社協 助成額 165,600 円
 - ・湯原西地区社協 助成額 138,600 円
 - ・二川ふれあい地域づくり委員会 助成額 153,500 円
- 中和支所(1 地区)
 - ・中和地区社協 助成額 130,000 円
- 八束支所(1 地区)
 - ・八束地区社協 助成額 389,800 円
- 川上支所(1 地区)
 - ・川上地区社協 助成額 312,800 円

イ ふれあい・いきいきサロンの推進

【目標】

身近な地域で気軽に参加でき、「豊かに暮らせる福祉コミュニティ」づくりを目的としてサロンの設置を推進します。また、新規サロン設置目標を 30 サロンとするとともに、継続したサロン活動を行うための支援を行います。

サロンでの移動販売などの新たなメニューの情報提供、相談、研修等の活動支援を行います。

【実績】

「ふれあい・いきいきサロン」の設置推進と活動助成

活動助成金 4,525,598 円(歳末助成 610,200 円含む)(前年度対比△274,902 円)

地区別設置数 200 サロン(前年度対比△1 サロン) (サロン数)

| 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 | 全域 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 27 | 43 | 28 | 50 | 7 | 16 | 3 | 13 | 12 | 1 |

「おためしサロン」の開催等、サロンの普及啓発活動実施

ウ 福祉委員活動の充実

【目標】

身近な地域の見守り、アンテナ役として役割が浸透するように、福祉委員研修会や地区社協座談会で具体的な役割の提示をします。福祉委員研修会の開催、開催目標年 2 回以上(各支所)福祉委員組織の必要性についての協議・検討を行います。

【実績】

福祉委員研修会を市内 13 会場で開催し、「地域のアンテナ役!福祉委員さん!!」DVDの活用や「福祉委員の手引き」等で福祉委員の役割について説明しました。

福祉委員数計 861 名 研修等開催数計 13 回 (名、回)

| | 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 |
|--------|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| 福祉委員数 | 98 | 247 | 137 | 144 | 54 | 78 | 13 | 55 | 35 |
| 研修等開催数 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |

エ 見守りネットワークの構築

【目標】

福祉委員と民生委員児童委員との連携・情報交換の場づくり、福祉情報等の提供を積極的に行います。合同会議の開催。救急医療情報キット等による見守り活動の充実を推進します。地域情報の把握に向けた取組みを行います。

【実績】

各地区社協単位に市内で 51 回座談会を開催し、地区社協、福祉委員、民生委員児童委員の連携や情報交換を行いました。また、救急医療情報キット等の推進にもつながりました。

開催回数 (回)

| 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 10 | 4 | 7 | 3 | 12 | 0 | 0 | 1 | 14 |

オ 小地域福祉活動を支える人材の育成

【目標】

地域福祉活動の活性化や意識の高揚のために、研修会や意見交換会を開催します。地域福祉推進委員会の開催。地域福祉推進委員代表者会議の開催。地域福祉活動担い手研修会の開催。

【実績】

(ア) 地域福祉推進委員会

【目標】

開催目標各支所 3 回以上

【実績】

地域福祉推進委員会 委員数計 87 名、開催計 30 回 (名、回)

| | 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 推進委員数 | 11 | 14 | 14 | 14 | 8 | 11 | 5 | 5 | 5 |
| 委員会回数 | 5 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 2 | 3 | 3 |

(イ) 地域福祉推進委員代表者会議

【目標】

開催目標年 2 回以上

【実績】

地域福祉推進委員代表者会議開催 3 回

日時 平成 27 年 6 月 24 日(水)

平成 27 年 9 月 24 日(月)

平成 28 年 3 月 14 日(月) 開催

各地域での活動の現況報告、地域助けあい事業推進についての協議、情報交換等を行いました。

(ウ) 地域福祉活動担い手研修会の開催

【目標】

開催目標年 1 回

【実績】

地域福祉推進委員、地区社協関係者、福祉委員等を対象に研修会を行いました。

演題 「地参地笑の地域づくり」

講師 小坂田稔氏（美作大学生生活科学科社会福祉学科教授）

日時 平成 27 年 10 月 14 日（水）10：00～

場所 湯原保健福祉センター

② 当事者及び当事者組織の支援

市内で活動する福祉団体等の活動を自立に向けて支援します。また、当事者の相談や、社会参加、問題解決、自立等に向けて支援します。

ア 当事者の社会参加支援

【目標】

当事者の交流・社会参加を支援するため、真庭市や真庭地域自立支援協議会と連携して各種交流事業を開催します。

【実績】

第 4 回真庭地域ふれあいスポーツフェスティバルの開催にあたり、実行委員会委員として出席し、また後援団体として協働しました。

イ 各種当事者組織の自主運営に向けた、活動支援及び組織化

【目標】

当事者組織の自主運営に向けて、各団体と活動内容を協議しながら活動支援を行います。

(ア) 真庭市老人クラブ連合会活動支援

(イ) 真庭市身体障害者福祉協会活動支援

(ウ) 真庭市手をつなぐ親の会活動支援

(エ) 真庭市遺族会連合会活動支援

【実績】

市内で活動する福祉団体等の事務局を担当し、活動支援を行いました。また、真庭市の基本方針を受け、説明を行うとともに自主運営に向けた支援を行いました。

(ア) 真庭市老人クラブ連合会活動支援

【目標】

会員の目標 9,643 名。自立に向けた取組み。

【実績】

会員数 9,128 名(前年対比△515 名) 市補助金 11,788,000 円

総会、役員会、社会福祉大会、老人クラブ大会、スポーツ大会、研修等。

(イ) 真庭市身体障害者福祉協会活動支援

【目標】

会員の目標 930 名。自立に向けた活動の支援。

【実績】

会員数 710 名(前年対比△93 名) 市補助金 1,300,000 円

総会、役員会、社会福祉大会、スポーツ大会、研修会、中四国大会、福祉展等。

(ウ) 真庭市手をつなぐ親の会活動支援

【目標】

情報提供と会員相互の交流に向けた取組み。自立に向けた活動の支援。

【実績】

会員数 94 名(前年対比 0 名) 市補助金 250,000 円

総会、役員会、県大会、研修交流会等。

(エ) 真庭市遺族会連合会活動支援

【目標】

遺族会の活動が円滑にできるよう支援します。

【実績】

会員数 1,400 名(前年対比△51 名) 市補助金 2,536,076 円

総会、役員会、県代表者大会等。

ウ 当事者組織との協働活動の推進

【目標】

就労支援事業所・作業所へ必要な情報を提供し、真庭地域自立支援協議会へ参加します。社会福祉大会等において各作業所の製品を展示し、作業所の紹介をします。

【実績】

真庭地域自立支援協議会へ参加し、情報交換や事業協力を行いました。

また、毎年開催している社会福祉大会では、コーナーを設け作業所で作られた物品の販売を行いました。

③ ボランティア活動の育成支援

地域活動の中で見えてきたニーズをもとに、人材の発掘と育成を図ります。

ア ボランティア市民活動センター及び、ボランティアステーションの機能の強化

【目標】

ボランティア活動がしやすい環境を整え、ボランティア活動の活性化を目指します。

(ア) ボランティアコーディネート

(イ) ボランティア活動に関する情報収集と情報提供

(ウ) ボランティア保険の加入促進(掛金の一部助成)

(エ) 市内ボランティア団体、市民活動への活動支援(地域福祉活動団体への支援)

(オ) ボランティア活動の広報啓発

【実績】

(ア) ボランティアコーディネート

本所内に「ボランティア市民活動センター」を設置し、ボランティア活動のコーディネート、支所及び関係機関との連絡調整等を行いました。

地区別ボランティア相談件数 194 件(前年度対比△11 件) (件)

| 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 | 本所 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 17 | 79 | 12 | 5 | 9 | 7 | 7 | 3 | 50 |

市内ボランティアの組織化による交流促進及び活動の活性化支援、ボランティアの安全確保、市内ボランティア活動及び市民活動への助成

ボランティアステーションの機能強化。社協各支所内に「ボランティアステーション」を設置し、ボランティア登録を行い、ボランティア相談窓口を開設し、相談

に応じました。

地区別ボランティア登録者数 1,364名(前年度対比△77名) (名)

| 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 | 本所 |
|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|-----|
| 188 | 215 | 362 | 250 | 30 | 48 | 22 | 54 | 67 | 128 |

(イ) ボランティア活動に関する情報収集と情報提供

(ウ) ボランティア保険の加入促進(掛金の一部助成)

(エ) 市内ボランティア団体、市民活動への活動支援(地域福祉活動団体への支援)
各種福祉関係団体助成の実施

助成団体 14 団体(前年度対比△4)

助成金 1,346,126 円(前年度対比△585,874 円)

| | | |
|-----------------------|-----|-----------|
| ・北房更生保護女性会 | 助成額 | 33,126 円 |
| ・落合ヘルスボランティア連絡協議会 | 助成額 | 209,000 円 |
| ・手作りおもちゃボランティア「チャチャ」 | 助成額 | 30,000 円 |
| ・あじさいの会 | 助成額 | 74,000 円 |
| ・月田ボランティアグループ | 助成額 | 126,000 円 |
| ・富原福祉のむらづくりボランティアグループ | 助成額 | 250,000 円 |
| ・みかもさくら草 | 助成額 | 27,000 円 |
| ・湯原ボランティアの会 | 助成額 | 75,000 円 |
| ・子育て応援隊 | 助成額 | 115,000 円 |
| ・蒜山認知症介護者の会 | 助成額 | 28,000 円 |
| ・真庭市ボランティア連絡協議会 | 助成額 | 160,000 円 |
| ・蒜山地区福祉運動会 | 助成額 | 30,000 円 |
| ・どーなつの会 | 助成額 | 152,000 円 |
| ・介護家族交流会「なごみ会」 | 助成額 | 37,000 円 |

(オ) 社協だより等でボランティア活動の広報啓発を行いました。

イ 災害ボランティアセンターなどの災害緊急対応体制の整備

【目標】

(ア) 災害ボランティアセンター立上げマニュアルを作成

(イ) 真庭市と連携し、災害時における支援体制の整備

(ウ) 災害ボランティアセンター立上げのための積立金の確保

【実績】

(ア) 災害ボランティアセンター立上げマニュアル(案)を作成し、災害ボランティアセンター設置・運営訓練で使用しました。

(イ) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練を真庭市と共催し行い、災害時の支援体制を確認しました。また、真庭市危機管理課と連携し、災害発生時の被害状況の確認を行いました。

(ウ) 災害ボランティアセンター立上げのための積立金を確保しました

ウ ボランティアの養成・育成

【目標】

(ア) 夏のボランティア体験事業の開催

(イ) 災害ボランティア養成講座の開催

【実績】

(ア) 夏のボランティア体験事業 参加者数 339 人(前年度対比△27 人) (人)

| | | | | | | | | |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 |
| 46 | 143 | 41 | 45 | 14 | 12 | 38 | | |

事前研修及び事後研修は 7 か所で実施(北房・落合・久世・勝山・美甘・湯原・蒜山会場)

(イ) 災害ボランティア養成講座の開催

災害ボランティア養成講座 21 名受講

災害ボランティアセンター設置・運営訓練 83 名参加

エ ボランティアネットワークの活性化

【目標】

(ア) 市内ボランティア団体の連携・交流・情報交換

ボランティア交流会の開催 開催目標 2 回(平成 26 年度実績 2 回)

ボランティア研修会の開催 開催目標 1 回(平成 26 年度実績 1 回)

(イ) 真庭市ボランティア連絡協議会等の活動支援

ボランティアの活動が活性化するよう「社協だより」の活用やホームページ等で情報を発信し、住民参加と理解を促進します。

(ウ) 真庭市市民活動支援プラザと連携した活動の展開

【実績】

(ア) 支所単位に、研修会や情報交換会を実施しました。

・ボランティア交流会開催 1 回

(イ) 真庭市ボランティア連絡協議会等の活動支援

・第 18 回 ボランティア交流会 i n 落合

日時 平成 27 年 8 月 30 日(日) 10 : 00 ~

場所 落合ショッピングセンターサンプラザ

ボランティア活動の活性化に向けて「社協だより」やホームページ等で情報発信を行いました。

(ウ) 真庭市市民活動支援プラザと連携を図り、ボランティア団体等へ研修会等の情報提供を効果的に行いました。

④ 地域包括ケアシステムの構築

【目標】

地域の中で援助を必要とする人の福祉課題の早期発見・早期対応のための仕組みづくりに地域包括支援センター等と連携、協働し取組みます。

【実績】

ア 地域包括支援センターと連携し、福祉課題の早期発見の仕組みづくりに向けた取組みを行いました。

イ 生活圏域ケア会議の進め方について、地域包括支援センターと 7 圏域ごとに協議を重ねました。

⑤ 新たな公共活動の開発・推進

【目標】

地域の課題解決を図るため、NPOや企業等との協働による支援活動の取組みへ参加します。

【実績】

商工会と連携し、ふれあい・いきいきサロンへの移動販売を行いました。

(2) 個別支援活動の推進

① ニーズの早期発見・早期支援体制の確立

【目標】

ニーズキャッチの仕組みづくりのため、関係機関とのネットワークを強化します。

ア 困りごとの早期発見・早期支援の仕組みづくりの推進

(ア) 地区社協での見守り活動の充実

(イ) 見守りの連携強化

(ウ) 「見守り台帳」や「支えあいマップ」づくりの推進

イ 専門職による地域や個別へのアウトリーチの推進

【実績】

ア 困りごとの早期発見・早期支援の仕組みづくりに向け、地区社協座談会で福祉委員や民生委員等による見守り活動の必要性について説明と依頼を行いました。

また、11地区社協で助けあい会議を開催し、「助けあいマップ」を作成し、見守りネットワークづくりを進めました。

イ 福祉活動専門員により要援護世帯の訪問活動を行い、他職種と連携し、適切な福祉サービスの利用に繋げました。

② 在宅福祉活動

ア 高齢者支援の推進

【目標】

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等の在宅での生活を支えるため、各種在宅福祉サービスを実施します。

(ア) 一人暮らし高齢者のつどい、配食サービス等

(イ) 福祉機器介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、声の広報

(ウ) 福祉移送サービス・高齢者等給食サービス事業 [真庭市受託事業]

(エ) 地域自立生活援助事業 [真庭市受託事業]

【実績】

(ア) ・歳末配食サービス

[実施支所] 勝山、美甘、中和、八束、川上

・歳末友愛訪問

[実施支所] 本所(久世地域)、美甘、湯原

・歳末ひとり暮らしのつどい

[実施支所] 北房、落合、本所(久世地域)

(イ) エ 全般的支援の推進にて記載

(ウ) 高齢者等給食サービス事業 [真庭市受託事業] <() は前年度対比>

| 支所名 | 配食数 (食) | 金額 (円) |
|------|----------------|-----------------------|
| 北房支所 | 2,361 (△175) | 2,124,900 (△157,500) |
| 勝山支所 | 2,972 (△184) | 2,674,800 (△165,600) |
| 湯原支所 | 2,743 (10) | 2,468,700 (9,000) |
| 中和支所 | 400 (△79) | 360,000 (△71,100) |
| 八束支所 | 1,245 (△311) | 1,120,500 (△279,900) |
| 川上支所 | 628 (△62) | 565,200 (△55,800) |
| 合計 | 10,349 (△801) | 9,314,100 (△720,900) |

(エ) 地域自立生活援助事業 [真庭市受託事業]

延べ688回 約553時間40分 <() は前年度対比>

| 地域名 | 提供回数 (回) | | 金額 (円) |
|-----|-----------|------------|----------------------|
| | 相談援助 | 家事援助 | |
| 北房 | 0 (0) | 26 (△25) | 46,800 (△45,000) |
| 落合 | 0 (0) | 227 (3) | 408,600 (5,400) |
| 久世 | 44 (43) | 38 (△5) | 94,500 (17,100) |
| 勝山 | 0 (0) | 201 (43) | 314,100 (73,800) |
| 美甘 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| 湯原 | 23 (23) | 0 (△1) | 20,700 (18,900) |
| 蒜山 | 43 (△24) | 86 (△62) | 155,250 (△166,950) |
| 合計 | 110 (42) | 578 (△47) | 1,039,950 (△96,750) |

※但し、事務受託金 356,000 円を除く

イ 障害者 (児) 支援の推進

【目標】

地域での自立した生活が可能になるよう関係機関と連携し、必要なサービスを提供します。

(ア) 福祉機器介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、声の広報

(イ) 福祉移送サービス [真庭市受託事業]

【実績】

(ア) 声の広報は、毎月の社協だよりや広報まにわの情報をボランティアの協力により CDに録音し、音声でご自宅にお届けしました。利用者数 10 名

(イ) 福祉移送サービス [真庭市受託事業] <() は前年度対比>

| 支所名 | 利用者延べ人数 | 金額 (円) |
|------|-----------|------------------------|
| 本所 | — | 258,728 (△17,340) |
| 北房支所 | 270 (16) | 5,955,632 (901,339) |
| 落合支所 | 80 (24) | 1,808,179 (577,455) |
| 勝山支所 | 65 (26) | 561,113 (150,060) |
| 美甘支所 | 20 (17) | 393,024 (316,787) |
| 湯原支所 | 49 (△5) | 623,207 (△158,212) |
| 合計 | 484 (78) | 9,599,883 (1,770,089) |

ウ 子育て支援の推進

【目標】

地域住民や関係機関と連携し、子育てサロンの開催や子育て支援ボランティアによる支援をします。

【実績】

子育てサロンの育成支援と助成金の交付及び関係機関との連携を図りながら情報提供を行いました。サロン開催3か所(平成26年度実績3か所)

エ 全般的支援の推進

【目標】

福祉器具介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、たすけあい号貸出事業、レクリエーション用具貸出等を実施し、在宅の高齢者、障がい者(児)及び福祉活動者等を支援します。

【実績】

福祉器具介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、たすけあい号貸出事業、在宅介護者の支援及び福祉活動団体等の支援を行いました。

福祉機具・物品等の貸出実績

(件数)

| 貸出物品・車輛 | 車いす | ベッド等 介護機器 | 福祉体験 学習用品 | 福祉車輛 | たすけあい号 | マイクロバス |
|---------|-----|--------------|--------------|------|--------|--------|
| 貸出件数 | 130 | 100 | 16 | 115 | 36 | 10 |

③ 相談支援の実施

ア 相談窓口機能の充実

【目標】

職員の対応マニュアルを検討します。

【実績】

福祉活動専門員会議にて検討を行い、作成しました。対応マニュアルの活用により、円滑で迅速な相談援助を実施しました。

イ 心配ごと相談所の開設[真庭市受託事業]

【目標】

(ア) 身近な総合相談窓口として、問題解決に向けて適切な相談援助を行います。

(イ) 相談員の研修会を開催します。年1回

【実績】

事業費総額 1,701,349 円(前年度対比△278,035 円)

地区別相談件数計 118 件(前年度対比△22 件)

(件)

| 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 | 本所 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 22 | 24 | 29 | 21 | 1 | 6 | 2 | 4 | 0 | 9 |

心配ごと相談員研修会

日時 平成27年12月16日(水)

場所 久世公民館

内容 講座「高齢者等の消費者被害防止のために」

講師 真庭市消費生活センター職員

相談所開設日等の周知(MIT、告知放送、社協だより等での周知)

ウ 生活福祉資金の貸付事業

【目標】

民生委員等と連携し、利用者の生活指導や償還指導に努め、経済的自立と生活の安定を支援します。また、調査委員会設置に向け、協議・検討を行い適切な貸付業務を実施します。

貸付の対象とならない世帯に対しての支援も関係機関等と連携して取組みます。

【実績】

平成 27 年度新規貸し付け 0 件

事業費総額 3,066,236 円（前年度対比△198,843 円）

平成 27 年度末現在貸付件数 14 件(前年度対比△5 件) (貸付件数)

| 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 5 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |

エ 日常生活自立支援事業

【目標】

行政等の関係機関と連携し、利用者の権利を守る事業として適切なサービスの提供に努めます。

生活支援員研修会の開催。生活支援員の充実。県社協が主催する研修会や連絡会等に参加し、専門性の向上や地域との連携に努めます。

【実績】

実利用者数(平成 27 年度末 契約者数)30 件(前年度対比△1 件)

事業費総額 8,025,642 円(前年度対比 32,642 円) (件数、人)

| | 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 利用件数 | 2 | 12 | 7 | 4 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 生活支援員 (実動数) | 2 | 6 | 4 | 3 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 |

- ・日常生活自立支援事業生活支援員研修会
心配ごと相談員研修会と合同開催
- ・権利擁護に関する研修会（県社協主催）
平成 27 年 7 月 31 日(金) 岡山きらめきプラザ
- ・日常生活自立支援事業生活支援員スキルアップ研修
「市民後見人養成研修／地域福祉・権利擁護セミナー」
平成 27 年 10 月 4 日(日)～12 月 6 日(日) 全 7 回 岡山きらめきプラザ
- ・成年後見制度情報交換会出席（年 4 回開催）
成年後見人制度の啓発促進に向け、地域包括支援センターや関係機関との情報交換や連絡会議の定期開催に参加しました。

オ 地域を取り巻く状況の変化や深刻化する地域の生活課題への対応

【目標】

地域で暮らす生活困窮者や低所得者等への支援策の検討を行います。

【実績】

福祉活動専門員が積極的にアウトリーチに取組み、潜在的なニーズの発見に取組みま

した。

(3) 地域福祉推進のための環境整備の推進

① 福祉教育の推進

【目標】

児童・生徒への福祉教育の推進。地域住民、医療、福祉関係者等専門職へ福祉教育の推進。

【実績】

ア 学校での福祉教育支援

(ア) 地域型福祉学習指定校数 合計 30 校(前年度対比△1 校)

助成総額 578,281 円(前年度対比△893,183 円) (学校数)

| 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 6 | 6 | 5 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 |

小学校 24 校 中学校 5 校 高等学校 1 校

(イ) 学校福祉体験支援 支援回数 33 回

車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、手話体験講座、ボランティア講座
点字体験講座、当事者の講話等の支援を実施しました。(回)

| 北房 | 落合 | 久世 | 勝山 | 美甘 | 湯原 | 中和 | 八束 | 川上 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 10 | 5 | 12 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |

② 広報啓発活動の推進

【目標】

社協活動が十分に周知できるよう広報活動を組織的・計画的に実施。広報紙「社協だより」の内容充実、ホームページの更新、各広報手段の積極的な活用。広報委員会の活性化を図ります。広報委員会の開催目標 4 回(平成 26 年度実績 4 回) 社会福祉大会の開催。

【実績】

・社会福祉大会の開催

平成 27 年 11 月 28 日(土)12:00～ 勝山文化センター(参加者約 800 人)

第 1 部 式典

真庭市社会福祉協議会長表彰(個人 15 名、14 団体)

社会福祉施設関係 5 名

優良社会福祉推進 4 名、14 団体 永年勤続 6 名

真庭市身体障害者福祉協会会長表彰

更正援護 1 名、自立更正 3 名

真庭市老人クラブ連合会長表彰 個人 7 名、6 団体

第 2 部 記念上映

映画「くじけないで」(字幕版)

・広報委員会の開催

第 1 回 平成 27 年 6 月 3 日(水) 久世公民館

第 2 回 平成 27 年 9 月 18 日(金) 久世公民館

第 3 回 平成 27 年 12 月 9 日(水) 久世公民館

第 4 回 平成 28 年 3 月 10 日(木) 久世公民館

③ 調査・研究活動の推進

【目標】

福祉に対する地域ニーズを把握し、ニーズに即した福祉活動を展開できるよう調査研究を行います。地区別座談会や各種事業実施の際に、ヒアリングやアンケートを行います。
(市内全域で座談会開催を目標とします)

【実績】

地区座談会や各種研修会等でアンケートや聞き取りなどの意向調査を行い、地域福祉活動の推進に活用しました。

小地域福祉研究会(県社協主催)に参加し、地区社協の小地域福祉活動計画策定について研究を行いました。

④ 社会資源の活用・改善・開発

【目標】

アウトリーチ活動や座談会での地域課題解決に向け、市や関係機関への提言。社会資源把握や活用に向けた資源マップ作成に向けた協議。

【実績】

座談会等で把握した地域課題の解決に向けて、地域ケア会議等を通じて、市内関係機関へ提言しました。

⑤ 評価体制の整備

【目標】

事業、年度評価の実施。評価シートの整備と活用。

【実績】

年度別事業評価シートにより、各種地域福祉事業の評価を行いました。

3 在宅福祉サービス

(1) 訪問介護事業所(介護予防訪問介護事業所、障害者総合支援事業を含む)

【目標】

利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域において安心して暮らせるよう、自立支援サービスに努め、利用者満足度 100%を目指します。

ア 利用者個々のニーズに合った専門的サービスの提供

(ア) 年間研修計画及び個人目標計画により人材育成を図ります。

(イ) 利用者理解と接遇力の向上を図ります。

イ 業務管理体制の強化により、適切なサービスを迅速に提供し、効率化を図り、職員
の一体化を目指します。

(ア) 職員相互のコミュニケーションを推進します。

(イ) 特定事業所加算を継続し、発展・効率化を図ります。

ウ 他職種及び社協内地域福祉部門と連携し、地域包括ケアとして積極的に寄与します。

【実績】

介護サービスの質と技術向上を目標にした年間研修計画の実施により、毎月の定例研修

訪問入浴介護南事業所

| 月 | 人 | 回数 | 月 | 人 | 回数 |
|----|----|-----|-----|------------|-------|
| 4月 | 49 | 150 | 10月 | 43 | 176 |
| 5月 | 41 | 158 | 11月 | 39 | 145 |
| 6月 | 42 | 163 | 12月 | 37 | 138 |
| 7月 | 38 | 174 | 1月 | 40 | 143 |
| 8月 | 36 | 142 | 2月 | 38 | 153 |
| 9月 | 37 | 152 | 3月 | 37 | 161 |
| | | | 合計 | 477 | 1,855 |
| | | | | (平均 39.75) | |

障害者（児）訪問入浴事業

利用者延べ件数 247 件 (△125 件) << () は前年度対比>>

| 事業所名 | 利用者負担(円) | 受託金(円) | 合計 |
|----------------|----------------------|----------------------------|---------------------------|
| 訪問入浴介護 南事業所 | 133,750 (133,750) | 3,034,750 (△ 1,702,250) | 3,168,500 (△1,568,500) |

(3) 通所介護事業(介護予防通所介護事業を含む)

【目標】

利用者が可能な限り、自宅で自立した日常生活を送ることができるように、孤立感の解消と心身機能の維持向上、介護家族の負担の軽減を図ります。

ア 利用者の重度化への対応力向上と安全施業を目指します。

(ア) 安全・安心の送迎に対する職員教育を徹底します。

(イ) 認知症および重度化の利用者への対応能力を向上させます。

イ 生活機能の維持向上に向けたサービスを提供します。

ウ 口腔ケアを重点的に実施します。

【実績】

ア 利用者実績年間延べ 3,547 人 1 日の利用者数は平均 12 人。前年度 529 人の増で、1 月あたり 44 回の利用増となりました。

イ 要介護度別では、要支援（要支援 1・2）24%、軽度（要介護 1・2）52%、重度（要介護 3・4・5）の利用者は、全体の 24%を占めました。

ウ レクリエーションを生活機能維持に繋がる内容を検討し、接遇の改善とサービスの充実を図りました。

通所介護（介護予防通所介護）事業 << () は前年度対比>>

| 事業所名 | 利用者負担(円) | 介護報酬(円) | 合計 |
|-----------|-------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 通所介護湯原事業所 | 4,217,888 (310,963) | 21,982,642 (1,168,897) | 26,200,530 (1,479,860) |

通所介護(介護予防通所介護)事業 実人数平均 40 人 延べ実人数 3,547 人
通所介護湯原事業所

| 月 | 実人数 | 延べ人数 | 月 | 実人数 | 延べ人数 |
|----|-----|------|-----|-------------------|-------|
| 4月 | 40 | 297 | 10月 | 46 | 314 |
| 5月 | 36 | 254 | 11月 | 42 | 277 |
| 6月 | 38 | 326 | 12月 | 40 | 259 |
| 7月 | 41 | 325 | 1月 | 41 | 271 |
| 8月 | 41 | 348 | 2月 | 39 | 264 |
| 9月 | 45 | 284 | 3月 | 38 | 328 |
| | | | 合計 | 487 (平均 40.58) | 3,547 |

(4)短期入所生活介護事業(介護予防短期入所生活介護事業を含む)

【目標】

介護者の介護負担の軽減を図り、利用者が自立した日常生活が送れるよう適切なサービスを提供します。

ア 在宅で安定した生活ができるよう、生活習慣の習得や心身機能の維持向上につながるサービスの提供を行います。

イ 他の事業所との連携を強化し、適切な個別対応を行います。

【実績】

稼働率実績 85.6%と前年より、17.6%増加しました。在宅介護生活の長期化による介護負担の軽減のために、毎月定期的に利用される方が増えています。

短期入所生活介護(介護予防短期入所生活介護)事業 ()は前年度対比)

| 事業所名 | 利用者負担(円) | 介護報酬(円) | 合計 |
|-------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 短期入所生活介護事業所 | 7,665,152 (2,615,745) | 25,746,478 (5,336,560) | 33,411,630 (7,952,305) |

短期入所生活介護(介護予防短期入所生活介護)事業

| 月 | 延べ人数 | 月 | 延べ人数 |
|----|------|-----|-------|
| 4月 | 243 | 10月 | 242 |
| 5月 | 275 | 11月 | 221 |
| 6月 | 263 | 12月 | 232 |
| 7月 | 295 | 1月 | 262 |
| 8月 | 296 | 2月 | 247 |
| 9月 | 270 | 3月 | 279 |
| | | 合計 | 3,125 |

(5)地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホームやすらぎ)

【目標】

入所者の尊厳を守り、穏やかに楽しく生活できるサービスの提供を実施します。

ア 個人としてだけでなく、チームとしての介護技術の向上を目指します。

(ア) 認知症及び重度化に対応のできる職員の育成を行います。

(イ) 年間研修計画により改善に取り組めます。

イ 協力病院、協力歯科医院との連携強化により入所者の健康維持を図ります。

ウ 運営推進委員会を中心として、地域住民・ボランティアとの交流を推進します。

エ 腰痛予防を意識した介護方法の実践を行います。

【実績】

ア 季節行事に重点を置き、入所者が楽しく過ごしていただけるよう取り組みました。

イ 医療機関等の連携を図ると同時に、研修会に参加し、介護技術の向上と事故防止に努めました。

ウ 入所者の健康管理・早期対応に努めました。利用率は、93.7%で骨折等による入院がありました。

地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホームやすらぎ) () は前年度対比)

| 事業所名 | 利用者負担 (円) | 介護報酬 (円) | 合計 |
|-----------|------------|-------------|------------|
| 特別養護老人ホーム | 7,280,019 | 29,531,490 | 36,811,509 |
| 「やすらぎ」 | (436,112) | (△482,183) | (△46,071) |

地域密着型介護老人福祉施設利用者数(特別養護老人ホームやすらぎ)

| 月 | 延べ人数 | 月 | 延べ人数 |
|----|------|-----|-------|
| 4月 | 300 | 10月 | 264 |
| 5月 | 310 | 11月 | 257 |
| 6月 | 300 | 12月 | 278 |
| 7月 | 303 | 1月 | 303 |
| 8月 | 306 | 2月 | 262 |
| 9月 | 263 | 3月 | 276 |
| | | 合 計 | 3,422 |

(6) 居宅介護支援事業、(介護予防支援事業[真庭市受託事業]を含む)

【目標】

介護保険の認定を受けた利用者が、可能な限り自宅で自立して日常生活を送ることができるよう、多職種と連携しながら、常に最適な支援になるよう計画を作成します。

ア 年間研修計画による研修と自己啓発に努めます。

イ 地域包括ケアにおいて積極的に役割を推進します。

【実績】

ア 研修会および定例会において事例検討を行い、サービス向上に努めました。

イ 医療をはじめとした多職種との研修会、ケアスタッフ会議等に参加し、広く地域及び関係機関との連携に努めました。

ウ ケアマネが各事業所とも1名減となり、南事業所は収入減となりました。北事業所は、他事業所のケアマネが1名減となったため担当を引き受け前年度より収入増となりました。それぞれの事業所の受け持ち担当数はケアマネ1人当たり約32名となっています。

居宅介護支援事業〈上段居宅介護支援事業 下段介護予防マネジメント()は前年度対比〉

| 事業所名 | 作成件数 | 居宅介護料(円) |
|------------|-------------|------------------------|
| 居宅介護支援南事業所 | 1,178(△109) | 16,772,610(△2,085,630) |
| | 81(28) | 341,390(128,816) |
| 居宅介護支援北事業所 | 1121(154) | 18,350,300(2,353,760) |
| | 135(△22) | 528,137(△82,063) |
| 合 計 | 2,299(45) | 35,122,910(268,130) |
| | 216(6) | 869,527(46,753) |

介護支援専門員 南事業所 3.3名 北事業所 3名

(7)障害者(児)移動介助事業[真庭市受託事業]

【目標】

歩行や車いすの介助、代読や代筆などのコミュニケーション支援などを通じて障がいをもつ人の自立と積極的な社会参加を促進します。

ア 移動介助従事者の研修受講と資格取得者の育成を行います。

イ 関係機関と連携し適切なプランに基づく支援を行います。

【実績】

利用者2名が障害者自立支援(同行援護・行動援護)に移行したために利用者数、収入の減少がありました。

障害者(児)移動介助事業 〈()は前年度対比〉

利用者延べ人数 南事業所 114人(△46人) 北事業所 0人(0人)

| 事業所名 | 利用者負担金(円) | 受託金(円) | 合 計 |
|------|-----------------|--------------------|--------------------|
| 南事業所 | 20,330 (20,330) | 463,920 (△217,190) | 484,250 (△199,650) |
| 北事業所 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| 合 計 | 20,330 (20,330) | 463,920 (△217,190) | 484,250 (△199,650) |

(8)生きがいデイサービス事業、通所型介護予防事業[真庭市受託事業]

【目標】

高齢者に外出の機会を提供し、孤立感の解消ができるよう支援します。

ア グループ活動による楽しい交流の場を提供します。

イ 介護予防のための運動機能訓練を楽しく維持するプログラムの工夫をします。

【実績】

生きがいデイサービス事業、通所型介護予防事業ともに、幅広いメニューの実施や新規利用者の開拓に努めましたが、対象者の介護保険制度への移行等もあり利用者数の増加にはつながりませんでした。

生きがい活動支援通所事業及び通所型介護予防事業

実績 5,476 人

〈() は前年度対比〉

| 支所名 | 利用者延べ人数 | 金額 (円) |
|------|-------------|----------------------|
| 北房支所 | 1,497 (△30) | 7,035,900 (△141,000) |
| 久世支所 | 1,576 (△46) | 8,195,200 (△239,200) |
| 湯原支所 | 206 (△4) | 1,071,200 (△20,800) |
| 中和支所 | 328 (32) | 1,705,600 (166,400) |
| 八束支所 | 989 (62) | 5,142,800 (322,400) |
| 川上支所 | 880 (△3) | 4,571,500 (△20,100) |
| 合 計 | 5,476 (11) | 27,722,200 (67,700) |

(9) 在宅高齢者生活管理指導短期宿泊事業[真庭市受託事業]

【目標】

地域包括支援センターとの連携を図り、利用者の要望に応えられるプランにより、在宅での生活習慣の改善となるよう生活習慣と体調の管理調整を行います。

【実績】

利用者 2 人

在宅高齢者生活管理指導短期宿泊事業

〈() は前年度対比〉

| 事業所名 | 延べ人数 | 宿泊日数 | 金 額 (円) |
|-------------------------|--------|---------|-------------------|
| 短期入所生活介護事業所 (特養やすらぎ) | 4 (△2) | 3 (△29) | 19,350 (△187,050) |

(10) 介護事業者として利用者への満足度調査の実施

【目標】

訪問入浴介護事業のアンケート調査を実施し、サービスの改善に取り組めます。

【実績】

平成 28 年 1 月に介護保険利用者 35 名にアンケート調査を実施しました。回答者 28 名で回収率 80%でした。結果を受けて、更なる接遇の強化、安心、安全な訪問入浴介護ができるように介護技術の向上研修を計画しました。

4 施設運営事業

(1) 指定管理施設(川上、八束、中和、湯原地域)

【目標】

福祉施設機能の充実と利用者の拡大を図り、地域に開かれた施設として役割の向上を目指します。

【実績】

事業の効率化を図りながら、地域に根差した施設運営を行いました。

(2) 落合老人福祉センター

【目標】

落合支所及び南事業所の移転に向け改修工事を施工します。

【実績】

重点事業にて記載

利用料収入 0回 0円（前年度 1回 3,750円）

| 月 | 会議（人） | 月 | 会議（人） |
|----|---------------------|-----|---------------|
| 4月 | 在宅福祉担当者会議他 18 | 10月 | 在宅福祉担当者会議他 15 |
| 5月 | 落合地区地域福祉推進委員会他 19 | 11月 | なごみ会他 13 |
| 6月 | 在宅福祉担当者会議他 17 | 12月 | おちあい白梅大学他 19 |
| 7月 | 地区社協会長・福祉委員合同会議他 17 | 1月 | 落合福祉推進委員会他 16 |
| 8月 | 在宅福祉担当者会議他 14 | 2月 | なごみ会他 19 |
| 9月 | 身障協会議他 17 | 3月 | 落合老連理事会他 16 |
| | | 合計 | 200 |

（3）地域福祉センター「百楽苑」

【目標】

百楽苑経営改善推進会議の報告を尊重し、改善を進めます。

【実績】

重点事業にて記載

地域福祉センター「百楽苑」

〈（ ）は前年度対比〉

| 月 | 利用者人数 | 利用料（円） |
|-----|----------------|---------------------|
| 4月 | 2,631(△234) | 582,650(△98,200) |
| 5月 | 2,510(△272) | 537,550(△79,800) |
| 6月 | 2,130(△91) | 474,800(△26,800) |
| 7月 | 2,165(△158) | 454,200(△64,150) |
| 8月 | 2,199(△308) | 474,600(△78,050) |
| 9月 | 1,991(△10) | 438,450(△5,400) |
| 10月 | 1,357(△889) | 492,350(△16,100) |
| 11月 | 2,429(△338) | 507,400(△129,300) |
| 12月 | 2,297(△330) | 527,950(△62,500) |
| 1月 | 2,983(△25) | 671,050(△14,150) |
| 2月 | 2,751(△11) | 626,900(△5,450) |
| 3月 | 2,880(△122) | 561,400(△112,650) |
| 合計 | 28,323(△2,716) | 6,349,300(△660,350) |

利用人数は回数券利用者を含む実人数

バーベキューハウス利用料 143,000円(△50,000円) 年47回 約611人使用

主な事業

センター杯ゲートボール大会（7月）、センター杯グラウンドゴルフ大会（10月）

陶芸教室 年19回、囲碁会 年16回、ゲートボール月例会 年11回

グラウンドゴルフ月例会 年3回、救急訓練・避難訓練 年3回

